

いじめの早期発見・未然防止のための各学校での取組について

<p>【取組1】 二者面談で生徒の話聞く機会を設ける（※区内の多くの学校が実施している）</p> <p>(1) 「なんでも相談」 杉並区立東田中学校 実施時期：各学期1回 担 当：担任以外の先生も含め、生徒が話したい先生を選ぶ 内 容：学校生活に関わること等 方 法：生徒が、先生や内容を書いた用紙を封筒に入れて提出し、それをもとに、スケジュールを組み、昼休みや放課後の時間に実施する</p> <p>(2) ふれあい調査とともに、教員やスクールカウンセラーに相談したい内容等を書ける欄を設ける。 放課後等を活用して相談できるようにする</p>
<p>【取組2】 生徒が主体となって情報共有をし、問題の解決を図れるように考える機会を設ける</p> <p>(1) 「中央委員会での取組」 杉並区立中瀬中学校 実施時期：中央委員会の開催時 担 当：生徒会の委員長、各クラスの学級委員 内 容：各学級の様子を共有し、その課題についてどのように対処するかを考える （例）タブレットPCでの言葉遣い等、モラルに関する使い方等で、すぐに「禁止」とするのではなく、だめなことであっても「どのようにしていくか」というところまでを話し合っ考えるようにしている 方 法：異学年同士で話し合うようにしている</p>
<p>【取組3】 一人ひとりの内面の特徴を把握し、教員の組織的対応に活かす</p> <p>(1) 「東京都『自尊感情調査』を活用した調査分析」 杉並区立井草中学校 実施時期：年に一回 対 象：全学年 内 容：「私は今の自分に満足している」「人の意見を素直に聞くことができる」等の26項目について質問に答える 方 法：①生徒が「Microsoft Forms」で回答する ②自動集約されたExcelデータ「学年単位」別に総括的にグラフ化し分析する ③各学級別に総括的にグラフ化し分析する ④「各個人」別にグラフ化し分析する→個人へフィードバックする ⑤「報告書」（本冊子）として取りまとめる</p> <p>(2) 杉並区「学びの構造転換」を踏まえた授業づくり 目 的：子どもが主体となる授業を行い、異なる考えに触れる機会を設ける。意見の交流から、他者から認められる場面を授業の中でつくり、心の成長を支えていく 課 題：一見授業は成立しているが教師の指示事項ばかりの指導となっている等、教師から児童・生徒への一方通行型の授業を改善する</p>